

西日本オープンアーム大会レポート 文 仲博幸

女子の部

今年より新設された女子の部はレフト7名ライト8名が出場、全日本大会上位常連の船木由美(大阪)が断然有利かと思われましたが、驚異の新人萬谷沙也香(奈良)が登場、本線では両ハンド共、船木を下しました。レフトハンド決勝では船木が意地を見せて、接戦ストラップの末逆転で萬谷を下し、レフトハンドを制しました。ライトハンドでも船木は食い下がりましたが、新人萬谷が強く船木を倒しました。両ハンドとも3位には藤本美香(熊本)、4位に横山和代(広島)が入りました。

60 kg級

レフトハンドは18名出場で中山尚佑(大阪)VS 浜田直志(鳥取)の決勝となり、マスターズチャンプの中山がすんなりと浜田を下しました。3位には末国太一(東京)、4位福井良幸(姫路)となりました。

ライトハンドは23名出場で浜田 VS 末国の決勝となり、浜田の力が上回り末国を下しました。3位にはレフト優勝の中山、4位福角健次(大阪)、5位松本隼介(京都)、6位矢森聖二(大阪)となりました。

70 kg級

レフトハンドは24名が出場木下悠生(高砂)VS 堀江正人(大阪)の決勝となり敗復より勝ち上がった堀江が全日本チャンプ木下をカミで制し逆転優勝しました。3位には川上和久(姫路)、4位武田真幸(奈良)、5位齊藤定善(尼崎)、6位岩本慶雨(大阪)となりました。

ライトハンドは今大会最高の34名が出場で秋定友明(神戸)VS 黒土勝太郎(福岡)の決勝となり、最近急に実力を発揮しだしたニューフェイス秋定が一気の攻めで全日本3位の黒土を下しました。3位には武田、4位堀江、5位竹田博司(広島)、6位木下となりました。

80 kg級

レフトハンドは13名の出場で戸川陽平(三木)VS 国分省吾(福岡)の決勝となりアームセンスの良さを生かし全日本2位の戸川が国分を圧倒しました。3位には堀口誠(大阪)、4位西岡清隆(福岡)、5位田中和弘(大阪)となりました。

ライトハンドは23名が出場田中幸光(三木)・前山卓士(姫路)・堀口・竹内真哉(三重)以上4名の全日本チャンプ、戸川・田中和弘・板垣貴之(神戸)・日高有造(播磨)・藤本晋吾(愛媛)以上5名の全日本上位入賞者が出場、非常に見ごたえのあるクラスとなりました。その中で一枚上の実力を見せたのは田中幸光で余裕の優勝となりました。以下の順位は2位戸川、3位前山、4位田中和弘、5位板垣、6位藤本となりました。

90 kg級

レフトハンドは7名が出場、昨年度全日本ジュニアで活躍した橋本将太(三重)が木村庄吾(奈良)を下し、優勝しました。3位には元全日本チャンプの西川満(滋賀)が入りました。

ライトハンドは7名出場で西川 VS 橋本の新旧対決の決勝となり、ストラップ戦で地力に勝る西川がねばる橋本を下し優勝しました。3位には中桐弘晶(大阪)が入りました。

90 kg超級

レフトハンドは竹内 VS 小川高志(神戸)の決勝となり、敗復より上がった全日本3位の小川が得意のストラップで1本を返しましたが、試合巧者の全日本チャンプ竹内が小川のパワーをうまくかわし勝利しました。3位には伊東孝幸(愛媛)が入りました。

ライトハンドは7名が出場仁尾和紀(和歌山)VS 伊東の決勝となり、敗復より上がった伊東のつりがさえ逆転優勝となりました。3位には小川が入りました。